

LAMP[®] スイングリフトアップ SLUN-N型 取扱説明書



このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。取り付け前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。誤った取り付けは、思わぬけがをする恐れがあるのでおやめください。施工後は、ご使用になられる方へ本説明書をお渡しし、いつでも読めるよう保管してください。

- 本製品は扉用スイングリフトアップ金具です。これ以外の使用方法や、使用範囲外の扉に使用したことによる故障、けがなどにつきましては、その責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 本説明書の製品内容は、部品としての品質範囲です。本製品を使用した最終製品の機能・性能・安全性を保証するものではありません。必ず最終製品内容をご確認をいただくよう、お願いいたします。
- 製品については万全を期しておりますが、万一不良品があった場合、ご購入先へお問い合わせください。保証期間は弊社納品書発行日から1年間とさせていただきます。良品との交換をもって責任の範囲とさせていただきます。但し、ダンパー部分の不具合につきましては、ダンパー本体のみ良品との交換をもって責任の範囲とさせていただきます。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めてふきとってください。アルコールやシンナーなど揮発性のものは表面の仕上げを傷めるので、使用しないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

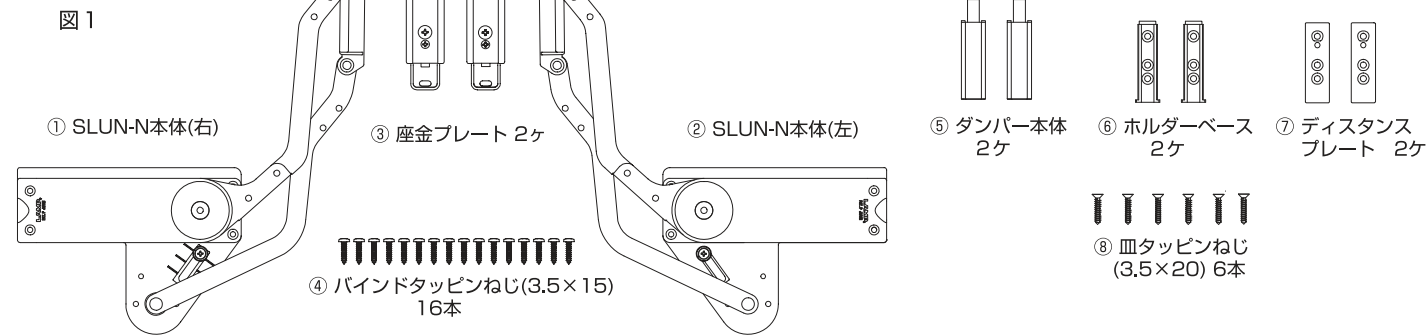
施工上の注意

- 本製品は、必ず左右セットでご使用ください。
- 本製品で使用する扉は、幅方向の中央に必ず取手を取り付け、取手を持って開閉してください。
- キャビネットおよび扉は水平、垂直に製作してください。
- 本製品の取付位置は、必ず指定寸法、水平、垂直度に注意して正しく行ってください。指定寸法以外での取り付けや傾きは、本製品の性能が発揮できないばかりではなく、破損等による思わぬけがをする恐れがあります。
- ばね力調節は、左右のねじ調節量が同じになるよう調整してください。差異があると、左右どちらかの製品に荷重負担が集中し、製品の寿命や機能に影響する可能性があります。
- 扉は反り、ねじれが発生しにくい構造にしてください。
- 扉を取り付ける前の状態で、アームを手で押し下げないでください。製品が破損したり、アームがはねあがって大けがをする恐れがあります。

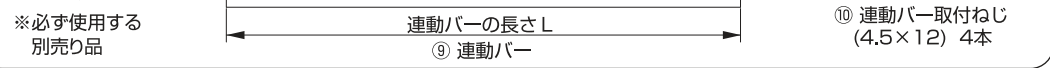
使用上の注意

- 扉を開ききった状態からさらに開いたり、必要以上の力で扉を閉めたりなど無理な扉の開閉は故障の原因となるので、絶対におやめください。
- ご使用になる際は、アームに指をはさまないようにご注意ください。思わぬけがをする恐れがあります。
- 本製品の使用温度範囲は5℃～35℃です。温度変化により扉の閉止速度が変化しますが、故障ではありません。
- 使用温度範囲以外でのご使用はおやめください。発熱するマイクロオープンレンジ等のキャビネットには絶対に使用しないでください。
- 本製品の分解、改造は決して行わないでください。
- 取付ねじにゆるみがないことを定期的に確認してください。ゆるみがあった場合は、増し締めしてください。

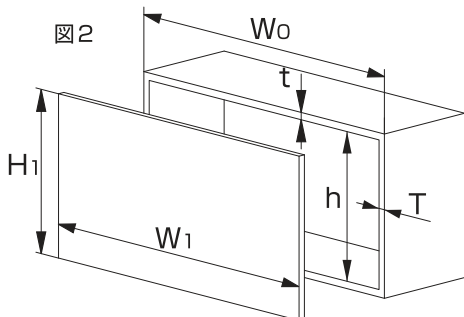
製品内容



別売



機種の設定



W₀ = キャビネット外幅
T = キャビネット側板の板厚
h = キャビネット内の高さ
t = キャビネット天板の板厚

W₁ = 扉外幅
H₁ = 扉高さ

表1. 適用扉質量

機種	扉質量[kg]
SLUN-3N	2.8~3.8
SLUN-4N	3.8~4.8
SLUN-5N	4.8~5.8

表2. 使用範囲

寸法 [mm]	キャビネット外幅 (W ₀)	扉高さ (H ₁)
600, 900	キャビネット外幅 (W ₀)	390~450

表3. 連動バーの長さL

	キャビネット外幅 600用 [mm]	キャビネット外幅 900用 [mm]
アームA部(木扉)	535	835
アームB部(ガラス扉)	551	851

・本製品は表1の適用扉質量にしたがって機種を選択してください(取手質量を含む)。
・表3の寸法は、キャビネットの側板 T が15 [mm]の際の、弊社標準在庫品です。側板の板厚(T)が15 [mm]以上の場合は、下記の計算式に従って連動バーを切断加工してください。
アームA部に連動バーを取り付けることを基本としますが、より剛性を必要とする場合は、アームB部にも取り付けてください(図6)。

アームA部の場合: $L = W_0 - (T \times 2) - 35$

アームB部の場合: $L = W_0 - (T \times 2) - 19$

※アームA部とB部で、連動バーの長さが異なるのでご注意ください。
※上記キャビネット以外への取り付けの場合は、弊社営業担当者までお問い合わせください。

本製品に関するご質問・ご相談は、ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

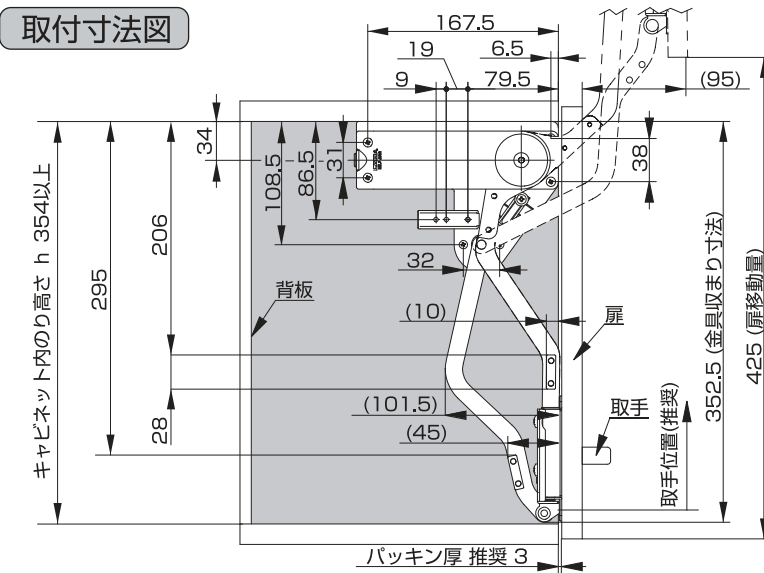
※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 機能のねじデザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2022.02 0541-6

取付寸法図



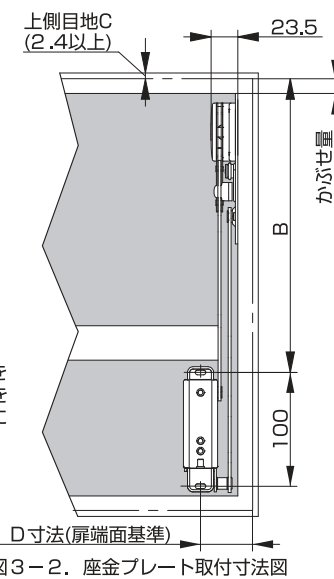
$$B = 244 + t - C$$

$$D = 32 + T - \left(\frac{W_0 - W_1}{2} \right)$$

W₀ = キャビネット外幅
T = キャビネット側板の板厚
t = キャビネット天板の板厚
W₁ = 扉外幅
C = 上側目地(2.4以上)

※この取付位置は、3[mm]のバックキンを使用したときの寸法です。バックキンを使用しない場合は、製品を背板側に3[mm]ずらしてください。

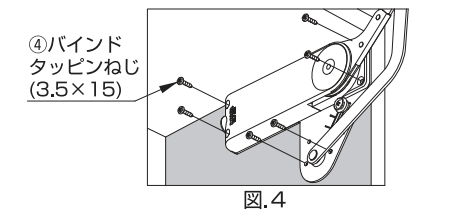
※扉閉閉時の最大扉出張量(264)



取付手順

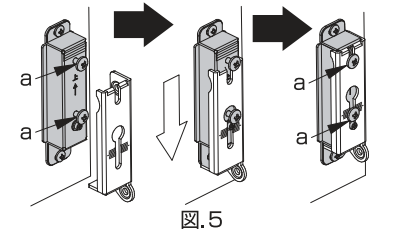
1. SLUN-N本体の取り付け

- (1) ①②SLUN-N本体をキャビネット内側の上部及び間口前面に合わせ、付属の④取付ねじ(3.5×15)で固定します(図3-1、図4)。



2. 扉の取り付け

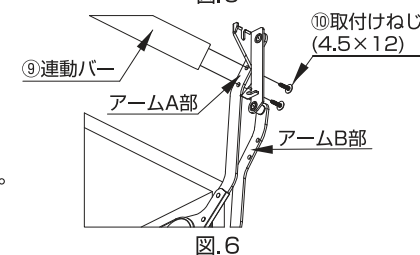
- (1) 座金プレートを扉裏面の規定位置に、付属の④取付ねじ(3.5×15)で確実に固定します(図3-2)。
- (2) 扉に取手を取り付けます。
※取手は、③座金プレート下端を限度に、なるべく上に取り付けてください(図3-1)。
- (3) ③座金プレートと、SLUN-N本体のアーム先端の座金を合わせてはめ込み、aねじを締め付けます(図5)。



⚠ 扉を取り付ける前の状態で、アームを手で押し下げないでください。製品が破損したり、アームがはねあがって大けがをする恐れがあります。

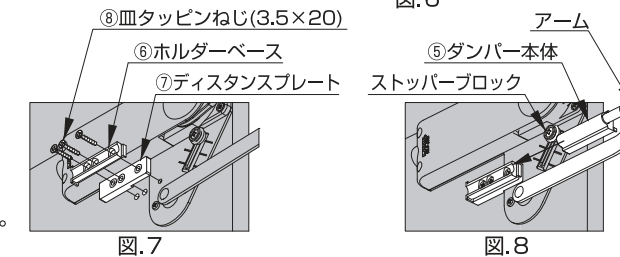
3. 連動バーの取り付け

- (1) アームA部の所に、⑨連動バーを⑩取付ねじ(4.5×12)で確実に固定します(図6)。扉中央部がガラスの場合などで連動バーを目立たせたくない場合は、アームB部の所で同様に固定できます。
※連動バーの長さが異なりますのでご注意ください。
※連動バーが緩んだ場合は、再度⑩取付ねじ(4.5×12)を増し締めしてください。

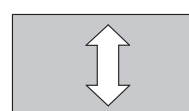


4. ダンパーの取り付け

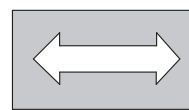
- (1) ⑦ディスタンスプレート及び、⑥ホルダーベースを、付属の⑧取付ねじ(3.5×20)で取り付けます(図7)。
- (2) ストッパーブロックが長円穴の一番上にある事を確認し、SLUN-N本体のアームを図8のように下げた状態で、ダンパー本体を前からスライドさせて取り付けます(図8)。



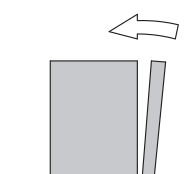
調整方法



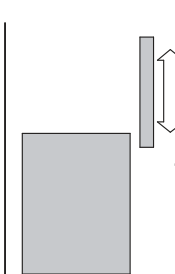
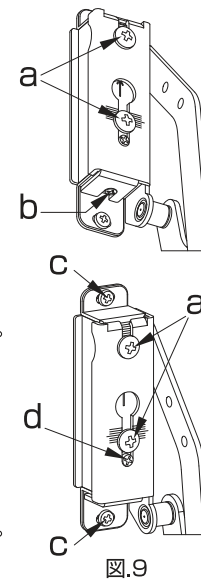
- 高さ方向
 - (1) aねじを緩めます。
 - (2) 下からbねじを左に回すと扉が上がります。
 - (3) aねじを確実に締め付けます。



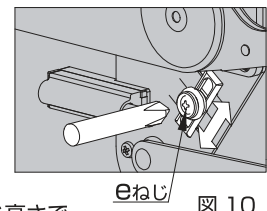
- 横方向
 - (1) cねじを緩めます。
 - (2) 扉を左右に調整します。
 - (3) cねじを確実に締め付けます。



- 前後の傾き
 - (1) aねじを緩めます。
 - (2) dねじを左に回すと扉先端がキャビネット側に傾きます。
 - (3) aねじを確実に締め付けます。

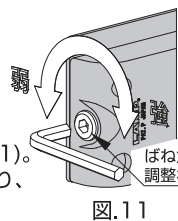


- 扉ストローク量
 - (1) eねじを緩めます(図10)。
 - (2) 扉が左右共に、任意の同じ高さで止まるようにストッパーを調整します。
 - (3) eねじを確実に締め付けます。



5. ばね力調節

- (1) 本体後部のばね力調整ねじで、扉を保持する力を調整してください。
調整は、六角棒スパナ(呼び5)で行ってください(図11)。本体後部から見て、右に回すと扉を支える力が強くなり、左に回すと弱くなります。
※六角棒スパナ(呼び5)は、お客様でご用意ください。



⚠ 必要以上にばね力調整ねじを回すと、製品が破損する恐れがあるのでおやめください。